

特集 ◇左京図書館と
けやきの2年間
TOPICS ◇副館長さん交代

特集 左京図書館とけやきの2年間

使いやすくて居心地のいい図書館のために

こんなことをやってきた



左京図書館が現在地に移転オープンして2年、そして図書館友の会けやきが誕生して2年になります。

この間に、左京図書館で始まった新たな利用者サービスをまとめてふり返ると共に、けやきの活動の再点検をしてみようと、けやき事務局メンバーで話し合いました。

◆利用者サービスについて

- まず返却ポスト。図書館が休みの時、時間が遅くなった時も返却できて、便利になりました。
- 夜間開館が実現。夜しか行けない人が利用できるようになってうれしい。
- 祝日開館も。
- 私はこれで便利になりました。
- 利用者の生活スタイルに合わせた開館ですよ。夜はにぎわっています。
- 夜間開館が行われているのは、京都市の地域館ではまだ左京図書館だけ。7月からは下京図書館でも開始されるそうですが、他の地域の人からうらやましがられています。
- 左京図書館独自の取り組みは利用案内にも見られます。子供向けの利用案内や携帯用の左京図書館利用カレンダーができました。このカレンダーは便利。
- 身障者向けの利用サービスパンフレットもできたね。身障者が来館したときの対応も、駐車場の利用案内板ができた。車椅子が玄関に置かれたり、少しずつ改善されています。
- 対面朗読室はアシストルームとなり、視覚障害者の利用のない時は、柔軟に使えるようになりました。
- 今後は視覚障害者向けのテーブル案内や、外国語の利用案内もできるといいですね。
- 外のテラスを使ってグループ学習ができるようにもなりました。

— でも冬は寒くて無理。使うとしたらこれからの季節かな。

◆設備について

- 新図書館になって、コンピュータが導入され、貸出、返却作業が早くなった。
- 検索機で、他館の本も利用者が自分で検索できるようになり、予約やリクエストした本も早く手に入るようになったのがうれしいですね。ただ、この検索機、車椅子の方には位置が高くて使いづらいようです。
- 他館で借りた本も近くの左京図書館で返却でき、とても助かっています。ビデオなどAV資料の返却もできるといいのですが。
- 書架の間隔が広がって、車椅子でも回転しやすくなったと聞きました。
- 児童書のコーナーは、書架が子どもの手の届く高さでいいですね。表紙見せの棚もあるし。
- 絵本コーナーのコルクの床はアトピーのある子どもと利用するので、安心です。
- 子ども用の椅子、テーブルがかわいい。
- 館全体としても、椅子が増えたので、居心地がよくなりました。



子ども向けの利用案内

7.2.1005

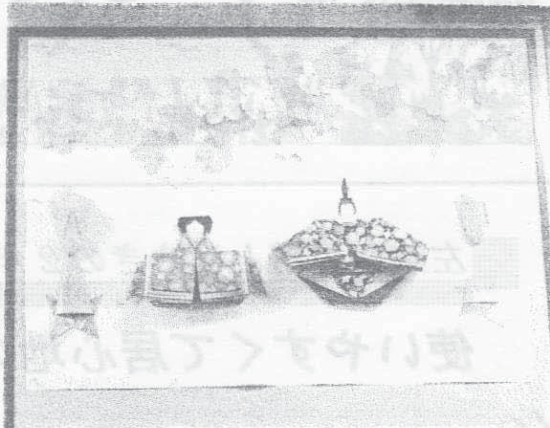
- じっくり本を読む人がふえたように思います。
- 本を入れるカゴやカートが備え付けられて、たくさん借りる時は便利。
- お年寄りもよく利用されています。
- 冬、コートを入れている人も。
- 自転車置き場が広がって、人のじゃまにならず置けるようになりました。
- ただ依然として、駐車場がほしいという声はよく聞きます。

◆左京図書館の催しについて

- 左京図書館がボランティアを受け入れて、協力して催しをひらいていることは、京都市の図書館としては画期的なことですね。
- けやきがボランティアとして、協力するようになったのが、おたのしみ会、映画上映会、絵本コーナーに飾りを作る会。どれも定期的に行われています。
- おたのしみ会は、司書さんとボランティアが協力してプログラムを組み、子どもたちに楽しんでもらっています。普段は絵本コーナーでしています。
- 来館した子どもが気軽に参加できるのはいいですね。
- 年2回のスペシャル版の時は3階の会議室を使っています。この時は工作も楽しみました。
- 3階の会議室は、映画上映会や、飾り付けを作る会にも使っています。
- 上映会は図書館利用のきっかけともなっているようですね。
- 子どもたちと一緒に作った飾り付けは絵本コーナーに飾られ、季節感やぬくもりを伝えています。
- 去年の5月には「子どもと図書館」をテーマとするパネル展が開かれましたね。地域館でこのような催しが開催されたのは初めてだったのでは。
- 玄関ホールのスペースでも工夫すればパネル展ができるのですね。

◆左京図書館とけやきのボランティア活動について

- 左京図書館が私たちの地域の図書館として、い



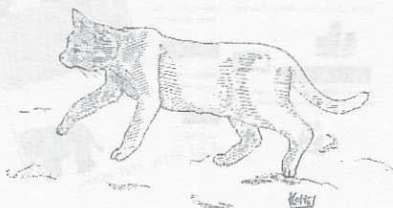
絵本コーナーにおひなさまの飾りを作りました

きいきとしてほしい、そんな左京図書館を支えていきたい、というのがけやきの立場です。

- 新しい左京図書館ができると聞いて、どんな計画なんやろ、こんな風にならへんかな、という声が利用者の間であがって、それが「新左京図書館を考える会」となった。その後、この「考える会」が新図書館開館と共に「けやき」に発展的に移行した。
- だから、図書館が好きな人、関心がある人が地元で自発的に集って、活動し始めた、というのがある意味けやきの誇りです。
- またその活動が左京図書館に理解されて、受け入れられ、協力していけるようになったこともね。
- それだけに、自らやってみよう、と飛び込んできてくれる人を待つ姿勢になりがち。
- やってみたいな、と思っている人は多いと思う。もっと工夫して仲間を募りたい。
- 左京図書館ではけやきとは別に、この4月から階下の老人福祉センターで募集されたボランティアを受け入れて、開館前の書架整頓の仕事をお願いしているそうです。
- けやきだけでなく、さまざまな立場のボランティアが活動できるのは、いいことなのでは。
- まずは図書館がボランティアをコーディネートする仕事が必要になるね。

◆ニュースレター

- このニュースレターを編集発行することも、けやきのボランティア活動のひとつです。
- 左京図書館を利用する者として、さまざまな疑問や要望を紙面で紹介し、またそれに対する図書館の応えも併せて載せてきました。
- ニュースレター発行にも左京図書館は協力、図書館内に配布分を置いてもらっています。
- 4号の特集「左京図書館の一日」ではけやきのメンバーが交代で1日中取材をさせてもらいまし



TOPICS

お元気で---どうぞよろしく 左京図書館の副館長さんが交代

4月1日付で、副館長の大西均氏が教育委員会に移
動、新たに山田達氏が着任されました。
大西氏よりけやきにメッセージをいただきました。

左京図書館での二年間は、本当にあっというまの、
しかし充実した二年間でした。

新築移転の引越しに始まり、コンピュータ化への研
修、そして記念すべき開館日は、怒涛のように押し寄
せる利用者の姿に圧倒されながら、図書館に対する期
待の大きさが胸に染み込んだ日となりました。

友の会「けやき」の皆さんには、オープニングの記
念行事に始まり、様々な場面でお手伝い、また貴重な
意見を頂き、増田館長の「市民の目線に立った、パ
ートナーシップを大切に作る図書館運営」との相乗効
果で、活気ある図書館になれたと思います。

夜間・祝日開館も昨年からスタートし、ますます地
域に根差した図書館の一員として、忙しい日々の中、
チャレンジ精神で頑張ろうとした矢先での異動となり
ましたが、この気持ちを新しい職場でも大切にしてい
きたいと考えています。

「けやき」の皆さん、増田館長・山田副館長他職員
の皆さんの今後ますますのご活躍をお祈りするととも
に、また図書館の仕事に関われることを願っておりま
す。

京都市教育委員会 人権教育企画課 大西均

た。司書さんたちも協力して下さって、図書館の
様々な仕事がわかりました。

— ニュースレターは、京都市の他の図書館にも
送っているし、けやき会員が配って、地元以外の人
にも読んでもらっていますね。

— はじめに紹介した、左京図書館独自の取り組み
がニュースレターを通じて他の地域の人にも伝わっ
て、またその地域でよりよい図書館を求める活動に
つながるといいのだけれど。

◆これからのけやきは？

— それにしてもこの2年、何度も館長さんや副館
長さん、また司書さんたちと話し合いや打ち合わせ
をしたね。

— 長い時間をかけての話し合いの中で、お互いの
立場を理解しながら、信頼関係もできたし。

— 設備と運用両面での図書館の使いやすさ、また
利用者との協力関係など、この2年間で左京図書館
は以前よりずっと身近な図書館となったのでは。

— もっとすてきな図書館である
よう、これからも利用者としての
提案や協力をしていきましょう。

— もっと、仲間もほしい。

— これを読んでくださった方、
ぜひ一緒に。



けやきの 本棚 7

わたしの
おすすめの本

ベープ・ルース

学習漫画 世界の伝記
集英社 90年

野球大好き。ベープ・ル
スは、病気の小さい子と約束
して、ちゃんとホームランを
うってあげました。その時は
とても調子が悪かったのに、
そこが一番かっこいいと思っ
たところ。イチローも高
橋よしのぶもゴジラ松井もホ
ームランをいっぱい打って。
(がんばれジャイアンツ
・養徳小4年)

はるなつあきふゆ

ジョン・バーニンガム作
岸田衿子訳
ほるぶ出版 75年

やわらかい色づかいの中に
風や雨や光の動きの瞬間がと
らえられ、人物や動物などがそ
の画面の主要な細部ははつき
りした形を持った、みごとに
イギリスの子どもの絵本で
す。古来四季を重んじ、生活
の中にも四季を持つていた日
本で、なぜこういう四季の本
が生まれないのか、不思議で
すね。(会員・一乗寺)

赤い鳥を追って

シャロン・クリーチ作
もきかずこ訳
講談社 97年

自分の存在が認められず
イライラしたり、自分の居場
所がわからなくなつて不安に
なることはありませんか。ジ
ニーもそんな女の子だったの
です。十三歳のジニーは家族
の中でもかけのうすい存在で
した。そんなジニーがある
日、農場のはずれに、落ち葉
や雑草におおわれたトレイル
(昔の開拓者が通った道)の
跡をみつけます。たつたひと
りで小道の復活を考え、こつ
こつとトレイルをたどってい
る時、自分自身をみつけれ、自
分の存在を意識していく少女
の熱い物語です。中学生にす
すすめたい本の一冊です。(S
さん・左京図書館)

歴史／修正主義

シリーズ・思考のフロンテ
ィア 高橋哲哉著
岩波書店 2001年

本書の基本的な視点は、歴
史は見直し修正の可能性に
開かれていくということだ
す。このような視点から、今
日の歴史修正主義の問題点、
また、私達が歴史にどう対応
し、責任をとるべきかという
ことを検討していきます。
歴史を見直すということ
と、今日台頭している歴史修
正主義とは、似て非なるもの
です。その違いを具体例と批
判的検討を通じて分かりやす
く語ってくれます。基本文献
案内も充実。最近話題の歴史
教科書問題を、「歴史とは何
か」という原点から考えるヒ
ントを与えてくれる一冊で
す。(会員・高野)

